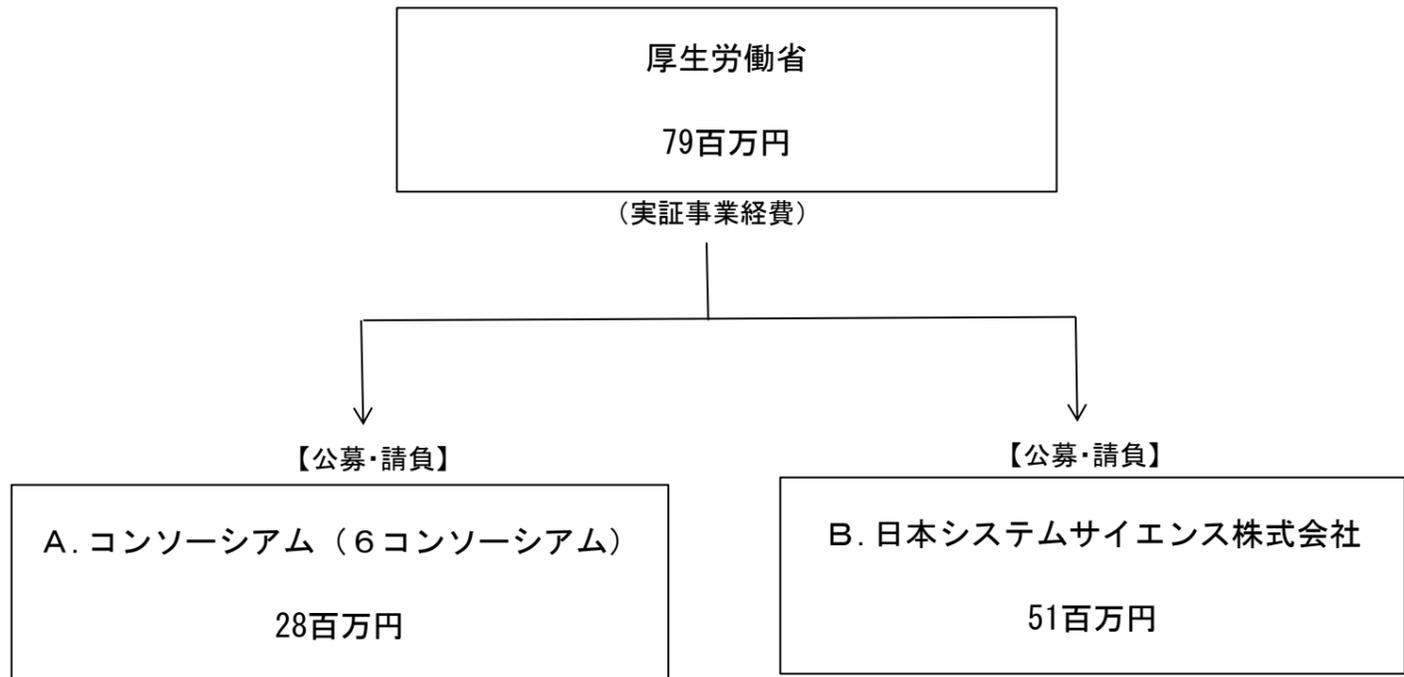


行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	社会保障分野におけるカードの利活用等に関する経費		担当部局庁	政策統括官(社会保障担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	社会保障担当参事官室		情報連携基盤推進室長 須田俊孝		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	なし		関係する計画、通知等	・「保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン」(平成13年12月26日、厚生労働省) ・「社会保障カード(仮称)の基本的な計画に関する報告書」(平成21年4月30日、社会保障カード(仮称)の在り方に関する検討会)等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康保険証等の機能を持つ社会保障カード(仮称)を使い、国民自らが、医療、年金、介護等の社会保障に関する自らの情報等の閲覧や、必要な手続のワンストップサービスを受けることが出来るようにすることにより、社会保障制度の手続等の効率化や情報の可視化、透明化を進め、社会保障制度の信頼性の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会保障カード(仮称)の導入に向け、社会保障分野におけるICカードの利活用に関する検討を深め、具体化するために必要な取組等を進める。 なお、社会保障カード(仮称)については、一昨年の行政刷新会議のご指摘を踏まえ、平成22年度予算概算要求の内容を見直すとともに、実証事業の成果等については、「社会保障・税に関わる番号制度」の検討の中で活かしていくこととされている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	210	392	102	-	-	
		補正予算	-	2,111	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	210	2,503	102	-	-	
		執行額	204	2,313	80	-	-	
		執行率(%)	97	92	78	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	・社会保障カード(仮称)の基本的な計画に関する報告書		成果実績	-	-	社会保障カード(仮称)の基本的な計画に関する報告書	社会保障カード(仮称)実証事業報告書	-
	・社会保障カード(仮称)実証事業報告書		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・社会保障カード(仮称)の在り方に関する検討会の開催		活動実績 (当初見込み)	開催回数	8	4	0	-
					-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		(円/ -)	算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	平成21年11月の事業仕分けにおいて、社会保障カード(仮称)については、「来年度の予算計上は見送る。新政権のもとでの方針をしっかりと守って、また、省内及び省庁間ですりあわせて、予算要求をしていただきたい」とのご指示を受けた。現在、「社会保障・税番号制度」の検討に参画しており、平成23年度及び平成24年度予算は計上していない。				
計	-	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>現下、社会保障制度の安定性と持続可能性の観点から、社会保障と税の一体改革の議論が進められている。その改革を進めるにあたり、社会保障・税に関する制度の効率性・透明性・公平性を高めるために必要な基盤を整備することが必要とされている。このような背景の下で、社会保障・税の一体改革の一環として、社会保障と税の共通番号制度の検討が進められており、今後は、社会保障カード(仮称)の実証事業等により得た知見をその検討に役立てていくこととしたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け第1弾 事業番号2-8、事業名「社会保障カード」 評決結果「予算計上見送り」 社会保障カード(仮称)については、「来年度の予算計上を見送る。新政権のもとでの方針をしっかりと守って、また、省内及び省庁間ですりあわせて、予算要求をしていただきたい」とのご指示を受けた。</p>			

※平成22年度実績を記入



【事業概要】

地方公共団体を含めた共同事業体(コンソーシアム)を形成し、社会保障カード(仮称)の基本的な計画に関する報告書(平成21年4月30日)にて述べられている仕組みについて、地方公共団体を主体とした地域における取組として、社会保障カード(仮称)実証事業を実施し、報告書を作成し、今後の社会保障カード(仮称)の制度設計の検討に向けた、制度運用面等での課題や有用な提言を行う。

【事業概要】

社会保障カード(仮称)実証事業のマネジメント業務を行い、実証事業により得られた結果を取りまとめ、これらを踏まえ、社会保障カード(仮称)の制度設計に必要な提案を行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務委託費	認証局システム、中継DBサーバ運用費用	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	主幹研究員	36			
	総括責任者	6			
旅費	現地との調整	2			
消費税		2			
一般管理費		5			
計		51	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	医療法人鉄蕉会	鴨川市社会保障カード実証事業コンソーシアム	5	随意契約	-
2	株式会社システム環境研究所	かがわSSCコンソーシアム	5	随意契約	-
3	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	おおむら社会保障カード(仮称)コンソーシアム	5	随意契約	-
4	国立大学法人九州大学	福岡経済情報基盤コンソーシアム	5	随意契約	-
5	株式会社サイバーリンクス	わかやま安心医療・社会保障カードコンソーシアム	5	随意契約	-
6	社団法人出雲医師会	いずも医療カード利用促進コンソーシアム	5	随意契約	-
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本システムサイエンス株式会社	コンソーシアムに対する支援業務及び全実証事業の成果の取りまとめ	51	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					